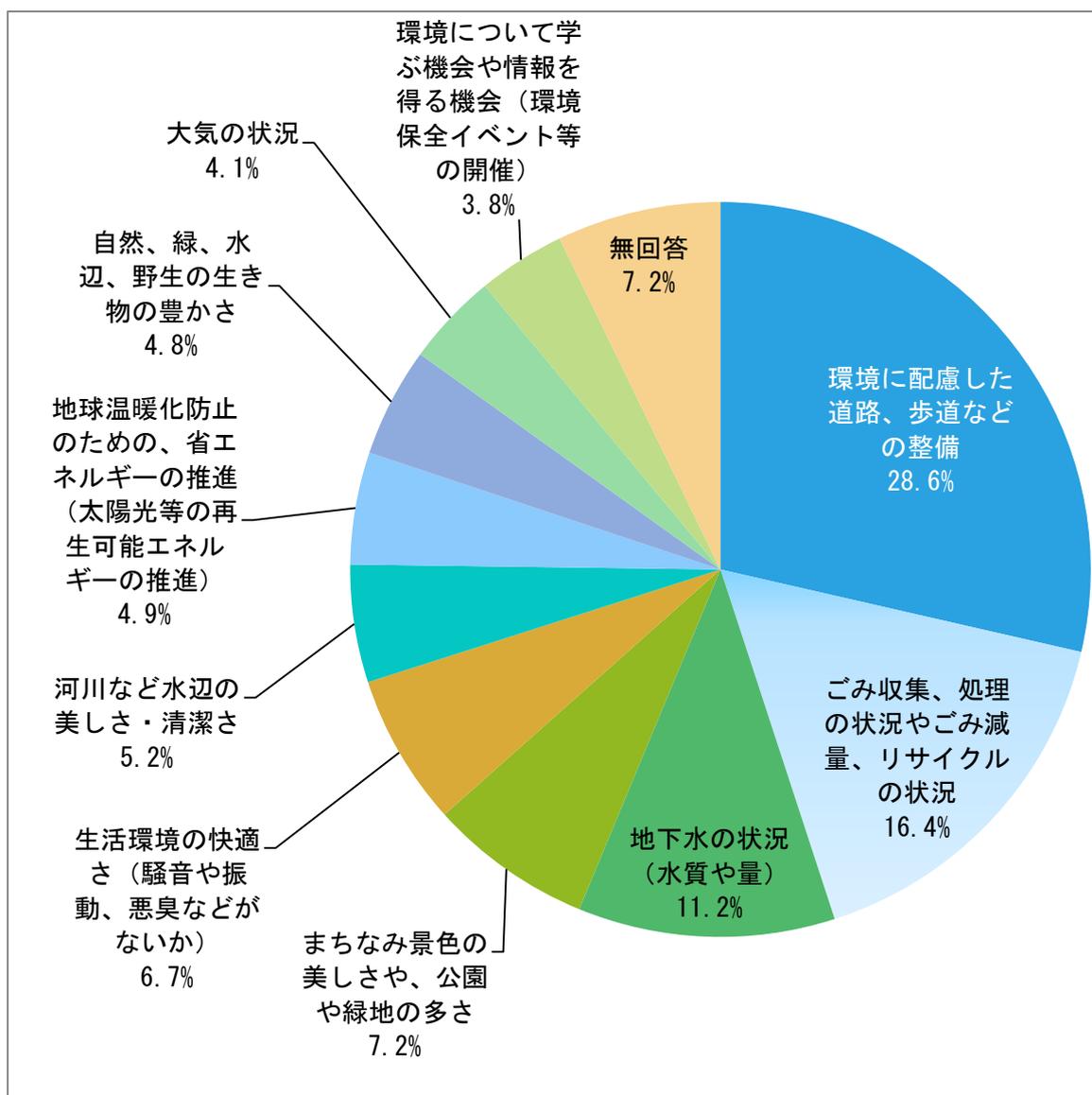


(2) 調査結果

■「熊本市内の環境問題」について

問1. 現在の熊本市内の環境の現状について、問題と思われることについて（10項目）から選んでください。（1つだけ）

「環境に配慮した道路、歩道などの整備」が28.6%と最も高く、次いで「ごみ収集、処理の状況やごみ減量、リサイクルの状況」が16.4%、「地下水の状況（水質や量）」が11.2%となっている。



【回答者の属性別にみた結果】

性別：「ごみ収集・処理の状況やごみ減量・リサイクルの状況」、「まちなみ景色の美しさや、公園や緑地の多さ」、「大気の状態」は女性の方が男性よりも回答割合が高くなっている。一方で、それ以外の項目においては、男性の方が女性よりも回答割合が高くなっている。

年代別：「環境に配慮した道路・歩道などの整備」は、40歳代が36.8%と最も高く、次いで30歳代（32.8%）、60歳代（29.8%）となっている。「ごみ収集・処理の状況やごみ減量・リサイクルの状況」は、20歳代が21.7%と最も高く、次いで80歳代（18.3%）、70歳代（18.1%）となっている。「地下水の状態（水質や量）」は、50歳代が16.1%と最も高く、次いで60歳代（14.3%）、80歳代（11.7%）となっている。

地区別：「環境に配慮した道路・歩道などの整備」は、北区が32.7%と最も高く、次いで南区（29.0%）、東区（28.4%）となっている。「ごみ収集・処理の状況やごみ減量・リサイクルの状況」は、北区が19.3%と最も高く、次いで中央区（17.0%）、東区（16.1%）となっている。「地下水の状態（水質や量）」は、南区が19.1%と最も高く、次いで東区（11.4%）、北区（11.3%）となっている。

■属性別回答

	合計	環境に配慮した道路、歩道などの整備	ごみ収集、処理の状況やごみ減量、リサイクルの状況	地下水の状況（水質や量）	まちなみ景色の美しさや、公園や緑地の多さ	生活環境の快適さ（騒音や振動、悪臭などがないか）	河川など水辺の美しさ・清潔さ	地球温暖化防止のための、省エネルギーの推進（太陽光等の再生可能エネルギーの推進）	自然、緑、水辺、野生の生き物の豊かさ	大気の状態	環境について学ぶ機会や情報を得る機会（環境保全イベント等の開催）	無回答
全体	811	28.6%	16.4%	11.2%	7.2%	6.7%	5.2%	4.9%	4.8%	4.1%	3.8%	7.2%
性別												
男性	421	29.9%	14.0%	11.6%	6.4%	7.6%	5.5%	5.7%	5.5%	3.8%	4.5%	5.5%
女性	384	27.3%	19.3%	10.9%	7.8%	5.7%	4.7%	3.9%	4.2%	4.2%	3.1%	8.9%
年代別												
20歳代	69	26.1%	21.7%	4.3%	7.2%	10.1%	11.6%	1.4%	1.4%	2.9%	4.3%	8.7%
30歳代	128	32.8%	12.5%	9.4%	10.9%	8.6%	6.3%	1.6%	2.3%	7.0%	3.9%	4.7%
40歳代	125	36.8%	13.6%	8.0%	8.0%	8.0%	3.2%	4.0%	4.8%	6.4%	4.0%	3.2%
50歳代	118	27.1%	16.1%	16.1%	5.1%	5.9%	2.5%	6.8%	4.2%	2.5%	2.5%	11.0%
60歳代	168	29.8%	17.9%	14.3%	5.4%	6.0%	3.0%	7.1%	5.4%	3.0%	4.2%	4.2%
70歳代	138	23.2%	18.1%	11.6%	5.1%	6.5%	8.0%	4.3%	8.0%	2.9%	2.9%	9.4%
80歳代	60	18.3%	18.3%	11.7%	10.0%	0.0%	3.3%	8.3%	6.7%	1.7%	6.7%	15.0%
職業別												
会社員	323	30.7%	16.7%	9.0%	7.7%	7.7%	5.6%	4.6%	3.7%	4.6%	4.3%	5.3%
自営業	56	25.0%	17.9%	10.7%	5.4%	1.8%	7.1%	7.1%	12.5%	5.4%	1.8%	5.4%
農林漁業	4	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
公務員	57	36.8%	8.8%	19.3%	7.0%	12.3%	3.5%	0.0%	3.5%	1.8%	0.0%	7.0%
学生	7	42.9%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%
無職	268	26.1%	17.9%	11.9%	6.3%	6.3%	3.7%	4.9%	6.0%	3.4%	4.1%	9.3%
その他	89	24.7%	15.7%	11.2%	9.0%	4.5%	5.6%	7.9%	2.2%	4.5%	5.6%	9.0%
地区別												
中央区	206	27.7%	17.0%	8.3%	7.3%	5.8%	5.8%	7.8%	5.8%	2.9%	5.8%	5.8%
東区	211	28.4%	16.1%	11.4%	9.0%	9.0%	6.2%	3.3%	1.9%	4.3%	3.8%	6.6%
西区	99	27.3%	13.1%	8.1%	7.1%	4.0%	8.1%	4.0%	7.1%	6.1%	7.1%	8.1%
南区	131	29.0%	16.0%	19.1%	4.6%	5.3%	2.3%	3.1%	9.2%	3.1%	2.3%	6.1%
北区	150	32.7%	19.3%	11.3%	6.0%	6.0%	3.3%	4.7%	1.3%	4.7%	0.7%	10.0%

問1-1. 問1. で選択された問題について、どのようなことが問題と思われますか。

ご自身のお考えを記入してください。

■各項目において多くの意見をいただいた中から、代表例を以下に列挙する。

1「環境に配慮した道路、歩道などの整備」についての意見

- ・ 歩道の段差や狭さを解消して欲しい。
- ・ 各個人宅の植木が伸びて歩道に出て、歩行者や自転車での通行者に危険が及んでいるので、町内会等から情報を収集し指導して欲しい。
- ・ 主要幹線の車の渋滞がひどく、都市高速等を活用した渋滞解決が必要。
- ・ 水道町交差点や植木町付近の渋滞対策。
- ・ 東バイパスの立体交差検討。
- ・ 自転車、歩行者専用道の整備。
- ・ 子どもや高齢者が安全・安心かつ快適に利用できる歩行環境整備。
- ・ 中心市街地へのアクセスが悪く、周辺地域間のアクセスが悪い。バスが中心市街地に一極集中していて道路渋滞を招いているので、中心市街地の周辺に、小型バスターミナルを整備し、相互にシャトルバスを結ぶことで中心市街地を経由しなくても周辺地域間をスムーズに移動できるようにしてほしい。
- ・ 市電、EV車の普及は環境汚染対策によいが、自転車道も増やし、高齢者・障がい者の車椅子、三輪車も安心して運転できる（通行できる）スペースもつくってほしい。
- ・ 横断歩道橋が必要な場合はエレベーター、エスカレーターの併設が望ましい。

2「ごみ収集、処理の状況やごみ減量、リサイクルの状況」についての意見

- ① ごみ出しのマナーについて
 - ・ ごみ出しのルール・マナーを守らない者が多い。
 - ・ 大型ごみ、タンスやベッドなどを区域外から持ち込む。
 - ・ 分別をしない。袋に入れていない。
 - ・ ごみ出しの曜日、時間、分別等、住民への啓発、推進。不法投棄者への処罰化。
 - ・ 一般廃棄物、産業廃棄物の明確化の徹底。
- ② ごみ収集について
 - ・ ごみ収集方法。各家庭の玄関先に、個人のゴミを出して収集してもらおうと、高齢の方のゴミ出しも楽だし、違反ゴミもなくなると思う。東京等は各家庭前にゴミ出ししていると聞いた。
 - ・ 大型ごみの収集日がないのは不法投棄の原因になる。家の近くにも不法投棄が多い。有料のシールを販売しているのはよいが、1ヶ月に1回程度、収集場所へシールを貼っておくと収集してもらえると助かる。
 - ・ 環境工場に持ち込んだが少し怖いと思った。持ち込み時間を延長して欲しい。
 - ・ ごみ集積所に長時間放置されている。朝8時半までに出したのに収集は午後2

時過ぎで、その間に風で飛んだり車につぶされたりしている。収集時間を夜中にしたらどうか、福岡県では多くの市町村が夜間にしている。

③ ごみステーションについて

- ・ ごみステーションにおいて、ごみの分別ができていない違反ごみを収集しない問題をどうかしてほしい。
- ・ ごみ置場の鳥獣対策（特にカラス）。
- ・ ごみカレンダーだけでなく、もっと分かりやすい文章・イラスト等の配布を試みては。
- ・ ごみの分別の判断基準（判断例示）が不十分で、確認手段が不足している。ごみ出し場所について、賃貸居住者への徹底が不十分であり、ルール違反のごみ出しで近隣居住者が迷惑している。

④ リサイクルについて

- ・ ゴみの分別が進んでリサイクル率が高くなれば、熊本市の財政にも良い効果が得られるはずである。子供が親に分別を注意するのが理想だが、ごみの分別についての知識を小中高の教育で徹底して教育することが必要。
- ・ 社会科見学等で、リサイクル工場見学をして、分別の意味および熊本市への経済効果を理解してほしい。大学においては、環境についてのサークルに財政的な支援を行っていくことが効果的だと思う。
- ・ エコ手帳かエコポイントカードを作りポイントを加算してエコバッグや節水用具、グリーンカーテン用具の景品等と交換する制度があれば良い。

3 「地下水の状況（水質や量）」についての意見

① 水質について

- ・ 水質をよい状態に保つことができるのか（有害物質が入らないように確実に防ぐことができるのか）。
- ・ 地震以前から水道水が臭う。カルキ臭さではなく管の腐食によるものではないかと思われる。

② 水量について

- ・ 田畑が減り、アスファルト舗装が増えたことにより雨水の浸透が減っているため水量が減るのではないか。
- ・ 熊本地震による地下水脈への影響の調査はしてあるのか。調査をしていたら、影響の有無が知りたい。

③ 地下水保全について

- ・ 子孫にこの地下水脈を残すことができる範囲で利用制限をしてはどうか。
- ・ 地下水の現況及び保全等の広報活動を通じ、県民全てが地下水保全に関心を持ち、次の世代に良好な環境等を引き継がせたい。
- ・ 60年前は近くの水源に水が溢れていた。八景水谷、亀井等の水源は最近枯れて

いる。水の熊本を維持できるよう、開発の制限等が必要だと思う。

- ・ 現状は大きな問題はないと思うが、今後 100 年 200 年と現在の状況を長く続かせるためには、住んでいる人の意識が大変重要である。
- ・ 現在の状況を「当たり前」と思って生活するのは非常に危険で、いつか地下水の量や質を落としてしまうことにつながる。「みんなの努力で保っている」と考えながら次の世代へつなぐことが必要だ。
- ・ 地下水を商品として県外に販売するのは極力避けてもらいたい。売るのは簡単だが水質と量を保つのは大変だからだ。「豊富な水量」といっても無限ではない。地下水を売りにするなら、生活環境を整えて転入する人を増やすことだ。「ここに住めば美味しい水が飲める」方向に持っていくといいと思う。
- ・ 今後水道事業が公営から民営になるというニュースを見たが、林業など他の分野と連携して生活環境を守ってもらいたい。
- ・ 地下水量については、20 年後 30 年後とすぐに結果がでるものでなく、保全対策を継続することが大事である。道路側溝の浸透式への改善、浸水性舗装等の工夫など多様面から対策を講じる必要がある。
- ・ 今のように地下水を使っていたら、将来も大丈夫なのかなと心配。
- ・ いろいろな面で地下水対策を行っていくことが大切だと思う。
- ・ 水は人の生命線で、水道インフラは人間生活の不可欠なサービスである。市民としては非営利事業による質の高い水道サービスを支払い可能な料金で利用したい。水道民営化は、世界各国で実施してみて失敗が多く、再公営化している例も多い（パリ、ベルリン、アトランタ、クアラルンプール等）。先に不成立になった水道法の改正法案であるが、これは水道民営化を促進するので警戒している。人の命と行政コストの負担減という本来比べられないものを天秤にかけるようなことはしないでほしい。災害時の水道の復旧など、民間企業で対応できるのか疑問である。地震のときに痛感した。熊本市上下水道局の職員の頑張りで市民はとも助かった。

4 「まちなみ景色の美しさや、公園や緑地の多さ」についての意見

- ・ 自宅の前にはどんどん増え続ける電線が何十本と道の上に張り巡らされ景観が台無し。
- ・ 街灯の数が少ない。冬は早く日が沈むので早めに点灯して欲しい。
- ・ 熊本ならではの景観・特色がない様に思う。お城近くのお店はお城の雰囲気の色や形にするとか、その街ならではの取組があるのではないかと思う。それが自然を守ったり環境に配慮したりする事につながればとも思う。
- ・ 古い公園をもっと活用してきれいにしたい。
- ・ 立田山、江津湖周辺のように市街地の近くに大きな公園がある所は少ないと思う。もっと整備して欲しい。

5 「生活環境の快適さ（騒音や振動、悪臭などがないか）」についての意見

- ・ 新幹線沿線の騒音対策、街灯等の整備
- ・ ごみの出し方、ペットの排泄物の放置や、タバコの吸殻の投げ捨てなどのマナーを守らない人への対策をして欲しい。
- ・ 私が住んでいる地域は鳩が非常に多く、ベランダの糞がひどい。防鳩ネットによる対策もしていますが、防げない場合もある。
- ・ 道路によっては沿線の樹木にいる鳥が糞を撒き散らして悪臭が漂っている。
- ・ 近所にある飲食店やカラオケ店が深夜までとてもうるさい。住宅街なので、子どもや受験生などには非常に迷惑だと思う。
- ・ 野良猫の糞に多数の住民がとても悩まされている。

6 「河川など水辺の美しさ・清潔さ」についての意見

- ・ 白川の下流域について、旧堤防がそのまま残り雑木が茂っている。川底を掘り水深を下げれば流れは良くなり、景観も向上すると思う。
- ・ 毎日、河川沿いを散歩しているが、生活用品、カン等のごみが多く景観上、衛生上問題があると思う。
- ・ 簡易浄化槽を設置し、毎月点検はしているが、そのまま河川に流している為、臭い等、不衛生でないかと気が引ける。下水道の設置を希望しているが、条件が合わず設置されそうもない。条件の緩和と予算措置で、もっと下水道の設置を急ぐべきではないかと思う。
- ・ 市内にある河川の草が伸び放題で見た目が悪い。草が伸びていることでゴミが捨てられたり、犬や猫などのペットの排泄物がそのまま放置されたりしている。飼い主のモラルだが、きれいな道、河川なら良心がとがめられると思う。
- ・ 河川敷は整備できているが、もっと川底を掘り下げて、掘り下げた土砂を整地し、遊歩道にしたらいいと思う。河幅を広くして、水上バスを通す。何箇所か棧橋を作り道路での交通緩和の一役に。

7 「地球温暖化防止のための、省エネルギーの推進（太陽光等の再生可能エネルギーの推進）」についての意見

- ・ 年々夏の暑さで自宅（マンション最上階）にいて、クーラーもきかなくて、上階からの室外機の熱風と屋上の熱により熱中症が心配になる。
- ・ マイカー規制等の温暖化対策をしてほしい。
- ・ 一人ひとりが注意して、家電や車は省エネルギー品の推進により良い環境を残したい。
- ・ 学校での教育も必要。
- ・ 化学燃料に代替するエネルギーがなかなか普及しないのは制度に起因すると思われるため改善が必要。事実上、原発の新規設置は無理であるのでどうしても太

陽光、風力、地熱、波力などによる電力をつくることが必要ではないか。

- ・ 熊本市の保有、使用する施設には太陽光パネルが設置されている所が少ない。省エネルギーのために昼休みに電気を消しているが、もっと効果的な対応をとるべき。
- ・ 省エネルギー推進に大いに賛成し協力しているが、太陽光発電の設置を考えてみて見積書を取ってみると金額の高さに足踏みしてしまう。
- ・ 国や企業の取り組みは進んでいると思うが、国民個々の問題としての意識はまだまだのように感じる。一人ひとりの問題として取り組むよう意識づけを促す取り組みも必要ではと思う。

8 「自然、緑、水辺、野生の生き物の豊かさ」についての意見

- ① 外来種生物を放流することによる河川、湖沼の生態系の破壊。その対策として、
 - ・ 外来種生物の販売を規制、原則禁止
 - ・ 販売時、登録制として、定期的に飼育状況を報告することを義務化。飼えなくなったら、販売店に返却することを義務化
- ② 江津湖の自然環境を昔のようなきれいで魚の豊富な環境に復元して欲しい。
 - ・ 外来魚の駆除
 - ・ 外来植物の徹底除去
 - ・ 江津湖に溜まったヘドロの除去
- ③ その他
 - ・ 外来種を持ち込む。飼い主ではない人が動物へ餌付け。TV、ラジオ、新聞、広報誌で根気強く周知して欲しい。
 - ・ 護岸工事で洪水は少なくなったが、生物をみかけなくなった。
 - ・ 人口は減少傾向であるのに新しく道路をつくる必要があるのか、公共工事は必要はあるのか、豊かな自然あってこそその「食」や「農・林・水」であり、自然を損なえば、外国からの食材に頼るほかない。「医食同源」健康でいたい。

9 「大気の状態」についての意見

- ・ PM2.5について、他の現状（水、生き物、エネルギー、緑地）は、行政あるいは個人の努力・取組で対応していくことが可能だが、この大気の問題に関しては、手の打ちようがない状況で、情報を入手して逃げ回るだけの状況が将来に亘っても続いていくと予想される。
- ・ ホテルや飲食店の喫煙スペースが屋外に設置されているため、歩道を歩いているだけで受動喫煙にさらされてしまうので、商業施設の喫煙スペースは必ず屋内に設置して欲しい。
- ・ バスやトラックを中心とした排気ガスについて、以前東京都等で行われたような排ガス規制を実現して欲しい。

10 環境について学ぶ機会や情報を得る機会についての意見

- ・ 知名度のある人物やキャラクターが環境に関して情報発信し、継続的なイベント活動を行うことで、関心をもてるのではないかと思う。
- ・ 常日頃から環境について学ぶ機会がないと感心を持たない人達が増えると思う。
- ・ 自治協議会や自治会の代表者を講師とした学習会等も有効と思う。